

2009年8月25日

FCPS保護者各位

2009年～2010年年度は素晴らしいスタートを切りました。私たちの学校では生徒のために新しく始まったいくつかのプログラムを含む、ワクワクするようなプログラムが始まっています。

すでにたくさんの学校を訪問することができ、フェイエット・カウンティの学校区の生徒たちが学習したり、成長したりしている様子に感動しています。お子様が学校を楽しんでいることを願うとともに、子供たちの教育を任せていただいていることに感謝いたします。

ご存知のように、フェイエット・カウンティの中でH1N1ウイルスのケースが何例か出ました。私どもの学校区の中にある数校にてインフルエンザのような病気になった生徒たちや職員の散発的なケースが出ています。私どもはフェイエット・カウンティ・ヘルス・デパートメント（保険所）と密接に連絡を取り合っており、毎日学校の出席状況を監視していますし、ヘルス・デパートメントの係員と毎週会合を重ねています。新しい情報が入手でき次第、お知らせいたします。

安心していただきたいのですが、私たち学校区とヘルス・デパートメントは国のガイドラインに従っており、子供たちと職員の健康を守るため、また学校を続けるために努力しております。通常のインフルエンザのように、H1N1は人から人へ簡単に感染します。一緒に取り組むことで地域と学校はインフルエンザが広まるのを抑える対策を講じることができます。

大事なのは華氏100度以上の熱、せき、のどの痛み、鼻水や鼻づまり、体の痛み、頭痛、強い疲労感を含むインフルエンザの兆候や症状を確認することです。人によっては嘔吐または下痢を引き起こすこともあります。どうか以下のことを実行して助けて下さい。

- 子供たちに石鹸と水での手洗いまたはアルコールベースのハンドサニタイザー（消毒）で手洗いをすることを指導して下さい。

- 飲み物、食べ物、洗っていない食器などを他人とシェアせず、咳やくしゃみをする際には、手ではなく、ティッシュか曲げた腕か袖で口を覆うことを指導して下さい。

- インフルエンザが広まるのを防ぐために、解熱剤を使用していない状態で、熱が下がって、熱の兆候のなくなった後、子供たちを最低24時間家に置いて下さい。

学校ではより頻繁な手洗いを奨励していますし、えんぴつや美術用品など共同使用する学習用品はなるべく使わないようにして、清掃計画を増やし、学校で親が迎えに来るのを待っている病気の子供が待機場所も隔離するなどしています。またぜんそく、糖尿病、または他の慢性疾患などインフルエンザにかかると合併症を引き起こすリスクの高い子供を持つご家族は、主治医と時々連絡をとりあった上で、医師が場合によってより進んだ対策を講じることを薦めるか確認するのも良い考えです。

この地域のインフルエンザに関する情報は[www.lexingtonhealthdepartment.org](http://www.lexingtonhealthdepartment.org)を利用するか、また、インフルエンザ・ホットライン288-7529に電話してください。

もしこの地域でインフルエンザがよりひどく、あるいは流行するようになったらヘルス・デパートメントに合わせて追加措置を取るかもしれません。ヘルス・デパートメントのアドバイスですが、丁度普通のインフルエンザ・シーズンのように、学校のインフルエンザの全て事例に対して警戒態勢をとる必要はありません。しかしもし追加の行動を取るべきとなれば最新の情報をお知らせします。

教育長



AN EQUAL OPPORTUNITY SCHOOL DISTRICT

Board of Education: Becky Sagan, Chair • John Price, Vice Chair • Melissa Bacon • Amanda Ferguson • Kirk Tinsley

Superintendent Stu Silberman

701 East Main Street, Lexington, Kentucky 40502 • Phone: 859.381.4100 • [www.fcps.net](http://www.fcps.net)